

10～12月の交通死亡事故特徴

～ 過去5年間（R3～R7）の死亡事故データから見る ～

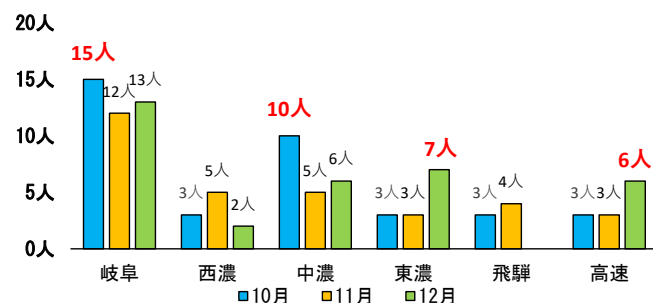
10～12月の死者数は、四半期で比較すると年間で最も多い。10月～12月にかけて夜間の事故は半数を占め、特に日没後1時間の薄暮時間帯に事故が多く発生している。時間帯では16時～20時の事故が多く、人対車両、単独事故が多いほか、最高速度、歩行者妨害及び漫然運転による事故が年間で最も多い。また、高齢者の被害が多く、75歳以上の被害が年間の約4割を占める。加えて、10月は死者が年間で最も多く、特に歩行者の被害が多い。

《10月》死者37人 夜間の事故が年間で最も多く、日没後1時間の発生が多い。道路横断中の歩行者被害が年間で最も多い。

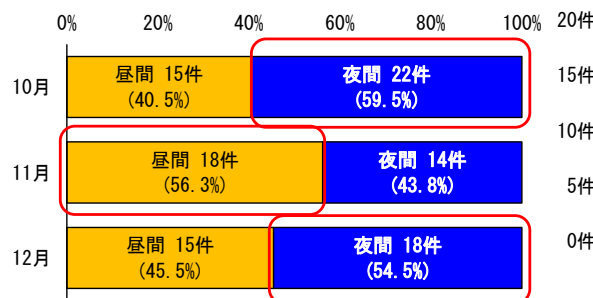
《11月》死者32人 出勤や退社時間帯の事故が多く、市町村道での事故、単路での事故が多い。また、自動車乗車中における事故が多い。

《12月》死者34人 16時～20時に事故が集中し、市町村道での事故が多い。また、出会い頭の事故が年間で最も多い。歩行者の被害が10月に次いで多い。

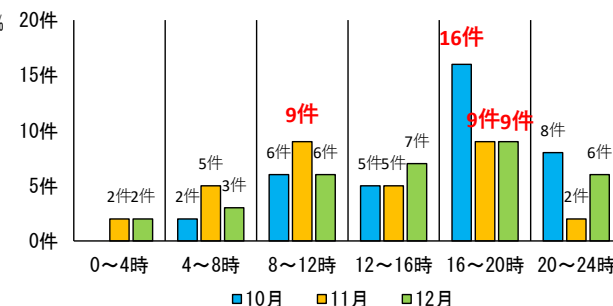
10月の交通事故死者が年間で最多！



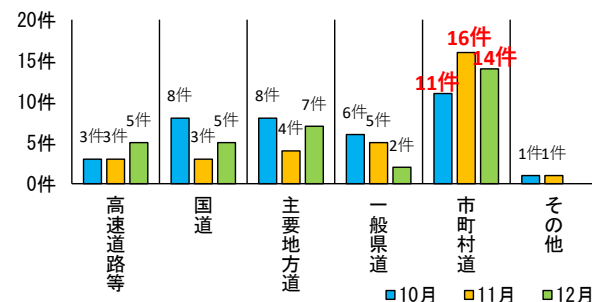
10月～12月は夜間の事故に注意！



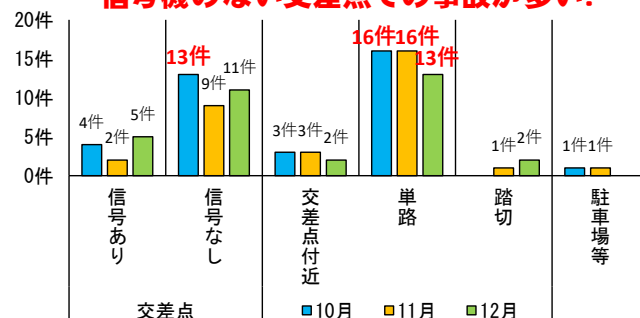
16時～20時に事故が多い！



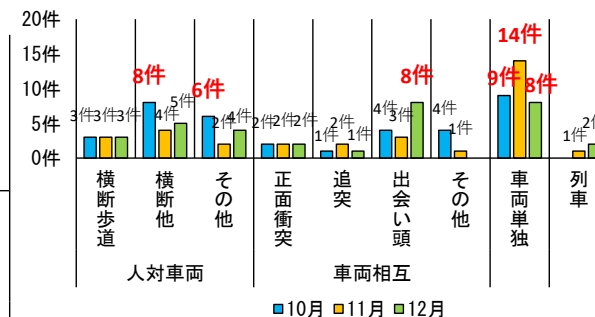
市町村道での事故が多い！



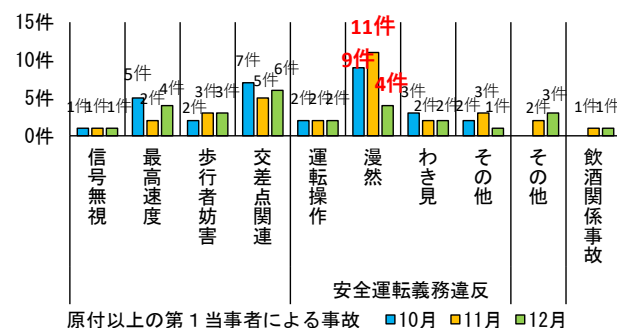
単路での事故が多いほか、10月は信号機のない交差点での事故が多い！



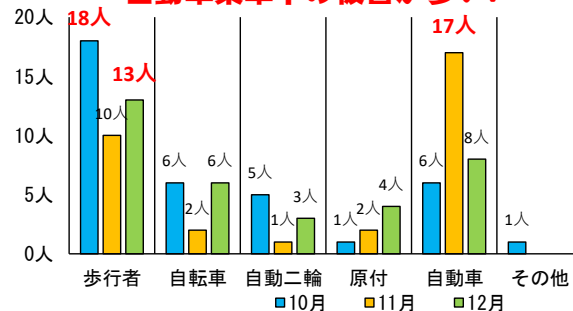
人対車両、車両単独事故が多い！



漫然運転による事故が多い！



10月・12月は歩行者、11月は自動車乗車中の被害が多い！



75歳以上の高齢者の被害が最多！

